

学校名	新潟市立真砂小学校
授業者	佐藤 まゆみ、大嶋 翔子、小林 莉佳

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

真砂“海学プロジェクト”～3年 海につながり～

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

道徳、学級活動

1-4. 単元の概要

第4学年で本格的に海の環境保全を学ぶため、第3学年では身近な環境について学ぶ機会として、学校ビオトープの管理に取り組んだ。道徳で環境を守る大切さを学び、ビオトープの生き物に関心を持ち、輪番で環境維持活動に取り組んだ。また、冬場でも全校児童がビオトープの生き物に親しんでもらえるように、児童玄関前に水槽を設置した。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

第4学年の海の環境教育への準備として、身近な環境（学校ビオトープ）についての関心を高める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 自分たちの身近な環境である学校ビオトープへの関心をもつ。
- 環境は積極的に保全活動に取り組むことで、よい環境は維持されることを体験する。

1-7. 単元の展開（全5時間+休み時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビオトープについての理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・やったー。うれしいな。 ・でも、何をすればいいんだろう？ ○ ビオトープの管理についてすべきことを予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・メダカに餌をあげる。 ・メダカを捕まえる。 ・緑の藻を取り除く。 ・ザリガニを捕まえる。 ○ ビオトープの先生からお話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・外来種と在来種について学んだよ。ザリガニは外来種なんだね。だから、捕まえていいんだね。 ・緑の藻は熊手で取っていいんだね。 ・水辺の周りの植物もビオトープの生き物なんだね。背が高い植物は抜いていいことを初めて知ったよ。 ・メダカの観察池からビオトープに水が入っているんだね。これが詰まると、ビオトープが乾いちゃうんだね。 ○ ビオトープの管理への心構えを、道徳教材から学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して、楽しみながらお世話をしたい。 ・生き物も生きています。命を大切にするために、しっかりと管理したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生が中庭のビオトープを管理する学年であることを知らせる。 ○ 何をすればいいと思うか問う。 ○ ビオトープについて理解を深めるために、ビオトープを施工した専門学校から講師を招く。 ○ 道徳教材「マリーゴールド」「生きている仲間」「ヤゴきゅうしゅつ大作戦」(光村図書)を活用し、ビオトープの管理への心構えについて気付かせる。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輪番でビオトープの管理を始める。 <ul style="list-style-type: none"> ・特に変わったことはなかったよ。 ・大きなメダカも小さいメダカもたくさんいたよ。 ・ヤゴを見つけたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビオトープの管理の順番を決め、お世話を始めさせる。

1	<p>○ ビオトープの管理で、困ったことや発見したことなどを発表し、今後の管理に生かそうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻がなかなか取れなくて困ったよ。 ・サギが来るので、メダカや銀ブナが食べられないか心配だよ。 ・サギは遠くからでも、身振りで追い払うことができるよ。 	<p>○ ビオトープの管理について困ったことや、新しい発見などを問う。</p>
休み時間	<p>○ 引き続き、ビオトープの管理を行う。</p>	<p>○ 引き続き、ビオトープの管理をさせる。</p>
1	<p>○ 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めは難しいと思っていたけれど、慣れると簡単だった。そして、いろんなことに気付けるようになったよ。 ・みんなで協力することで、よい環境を守ることができた。一人では大変だから、協力が大事。 ・あまり生き物が好きではなかったけれど、だんだんと興味をもてるようになったよ。 	<p>○ 複数の視点で振り返りを書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの生き物を守る大切さについて ・水辺の生き物について

2. 習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

○ ビオトープの専門家から、環境保全の目的と方法を学び、今後の継続的な管理への意欲をもつ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○ ビオトープの先生から環境保全の目的と方法についてお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来種と在来種について学んだよ。 ザリガニは外来種なんだね。だから、捕まえていいんだね。 ・緑の藻は熊手で取っていいんだね。 ・水辺の周りの植物もビオトープの生き物なんだね。背が高い植物は抜いていいことを初めて知ったよ。 ・メダカの観察池からビオトープに水が入っているんだね。これが詰まると、ビオトープが乾いちゃうんだね。 <p>○ ビオトープの先生に質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダカはどこに卵を産むんですか。 ・銀ブナも卵を産むんですか。 <p>○ 振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープについてたくさん学ぶことができ、楽しかった。早く作業をしたい。 ・ザリガニが見つかったら、すぐに捕まえて、ビオトープの生き物たちを守りたいです。 ・困ったことがあったら、またビオトープの先生に質問すればいいから安心したよ。 	<p>○ ビオトープについて理解を深めるために、ビオトープを施工した専門学校から講師を招く。</p> <p>○ ビオトープの先生に質問したいことを問う。</p> <p>○ ビオトープの先生の話聞いて、振り返りを記述させる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

○ やらされる管理から、自発的な管理へと意欲をもって取り組むために、外部講師を招くことは、言うまでもなく有効であった。伝わりやすいスライドと具体的な話が子どもにとって興味を高め、また知らない知識もたくさん話していただき、大人もワクワクする時間であった。

とはいえ、専門的な知識が不十分な子どもにとっては、今後困ったことがあれば、ビオトープの先生に相談すればよいという点も、安心して活動に取り組める上でよかった。

4. 今後の課題

○ 春から秋までの長い期間の管理となるため、意欲を継続させることが難しい。好きな子どもの意欲は続くが、苦手な子への変容は難しい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○ 特になし。